



民間工事の受注比率拡大

東京や北関東で長年培ったゼネコンや地場企業への営業ノウハウが最大の武器。「四国では強みの官庁工事を維持しつつ、民間の受注シェアを伸すことで、数字目標を

日本道路四国支店長

長谷部 兼一氏

はせべ けんいち



達成する」と抱負を語る。企業のチャレンジング精神に対してアンテナを高く伸ばし、ニーズを的確に捉えることでシェア拡大を狙う。

コスト削減や工期短縮、VE提案で顧客の信頼を勝ち取る。四国4県で6拠点の合材プラント工場を保有し、商社との付き合いも広い。中東情勢を踏まえ、材料の供給を停滞させない強みを発揮しながら他社と差別化する。「工事部門と製販部門は高いシェアをキープしつつ、松山と高知にある地域舗装会社を通じて、地元との密着度を高めながら受注につなげる」と意気込む。

つくばエクスプレス開業前に上

野駅や浅草駅の最終工事に従事した。「さまざまな制約がある中でやり遂げた経験が、今の自信につながっている」と振り返る。『一期一会』を大切に考える。「スムーズな工事の流れは、全ての関係者との信頼関係から始まる」との

思いは強い。若手教育にも力を注ぐ。「失敗を恐れずチャレンジしてほしい。責任ある仕事を与えつつ、全員でフォローできる風通しの良い職場をつくりたい」と願う。

1994年3月日大理工学部土木工学科卒後、同年4月日本道路入社。北関東支店工事部長、中部支店工事部長などを経て、4月1日から現職。趣味はゴルフ。四国勤務を機にお遍路をスタート。現在43カ所を巡礼した。千葉県出身。55歳。

